

愛媛県歴史文化博物館

No.47

# 歴博だより

Museum of EHIME History and Culture's News

平成18年度企画展 芸術文化振興基金助成事業

## と・き・め・く・フ・ア・ッ・シ・ヨ・ン

小町娘からモダンガールまで

江戸時代後期から昭和初期にかけて、小町娘やモダンガールたちが、胸をときめかせながら楽しんだファッションを紹介します。



イブニング・ドレス マドレーヌ・ヴィオネ  
一九三三年頃 神戸ファッション美術館蔵  
ヴィオネは、古代ギリシャや日本のキモノの造形に  
注目し、ウエストではなく肩にポイントを置いたド  
レスを世に送り出した、偉大なデザイナーです。



白紋縮緬地松梅鶴模様振袖  
江戸時代後期 国立歴史民俗博物館蔵  
陰陽の鶴が羽ばたく紅の雲。その雲間には松樹と梅枝が裾から立ち上る華やかな振袖です。

AUTUMN EVENT

### 歴博で秋の色・イロをさがそっ♪

開館記念無料開放DAY

学芸員調査ノート

- 大般若経第六十巻
- 象頭山参詣道四国寺社名勝八十八番
- 三間焼雲龍文香炉
- 松山スーパーマーケット開店ポスター

INFORMATION

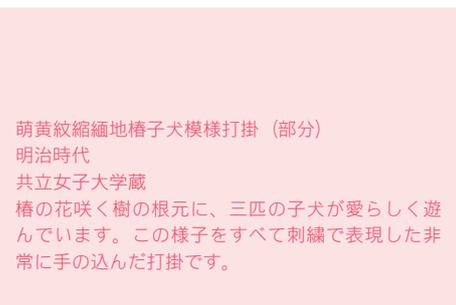
歴史文化講座のご案内  
講演会のご案内



鼠地薔薇模様銘仙着物 大正時代 個人蔵  
薔薇を青く表現した斬新なデザインの銘仙。大正から昭和時代にかけて、銘仙の大胆な色彩とモダンなデザインが人気を呼びました。



染型紙 蝶と桜 (部分)  
大西金七染物店蔵  
四国中央市川之江の染物店に伝わる伊勢型紙。伊勢型紙とは着物を染める際に使用する和紙のことを言います。



萌黄紋縮緬地椿子犬模様打掛 (部分)  
明治時代  
共立女子大学蔵  
椿の花咲く樹の根元に、三匹の子犬が愛らしく遊んでいます。この様子をすべて刺繍で表現した非常に手の込んだ打掛です。



女学生の愛唱歌 表紙絵：中原淳一  
昭和21 (1946) 年  
当館蔵  
この資料の表紙と挿絵は、中原淳一の手によるものです。中原淳一は、少女雑誌を舞台に、その優美で可愛らしい画風が女学生の間で人気を博しました。

後援 愛媛県市町教育委員会連合会、愛媛新聞社  
NHK松山放送局、南海放送、テレビ愛媛、あいテレビ、  
愛媛朝日テレビ、愛媛CATV、FM愛媛  
開館時間 午前9時→午後5時  
休館日 毎週月曜日  
但し、10月9日[月]、11月6日[月]は開館  
10月10日[火]、11月7日[火]は休館

観覧料	企画展	企画・常設展共通
大人	500円(400円)	700円(600円)
小中学生	250円(200円)	-

\* ( ) 内は20名以上の団体料金 \*小中学生の方は常設展無料  
\*65歳以上の方は常設展・企画展とも無料  
\*着物姿でご来館の方には特典あり

平成18年度企画展 芸術文化振興基金助成事業

# と・き・め・く ファッション

—小町娘からモダンガールまで—

## 10月4日[水]～11月26日[日]

今日のあなたのファッションポイントは何ですか？  
何を思ってその服を選びましたか？

流行っているから/動きやすいから/暖かいから/美しく見せたいから/まわりからよく見られたいから/新しいから/安いから/高かったから/そういうものだから…

理由は無数にありますが、どれも当たっているような、どれも当たっていないような気がしませんか？

このファッションに決めたのはまちがいがなく自分なのに、自分以外のなにかに影響されたような気がしませんか？

この「ときめくファッション—小町娘からモダンガールまで—」展では、江戸時代後期から昭和初期にかけて、社会情勢や時代背景とせめぎあいながら女性が生みだしたファッションを紹介します。

様々なルールの中で、女性たちは胸をときめかせながらおしゃれを楽しみました。

小袖に施された愛らしい刺繍に、すれ違いざまにはじめて気づくような細かい小紋に、脚線美という新しい美のポイントを主張するドレスに、そして、叱られてもやめられない制服のおしゃれに。いずれのファッションからも彼女たちのときめきを感じることができます。

服や髪型、化粧や香りに至るまで、トータルで装う「ファッション」について少し思いをめぐらせることはとても刺激的なことです。この展示がそのきっかけになれば幸いです。

### ■展示構成

- 百花繚乱—小袖の時代
- 極細の美—染めと型紙
- モダンガールの足どり—和装から洋装へ
- 憧れと誇りと—えひめ女学生ライフ

# Fashion

10/22 [日]

企画展ワークショップ

「言葉」について考える体験事業  
おしゃべりな『きもの』

主催：文化庁 愛媛県教育委員会 愛媛県歴史文化博物館

きものは声を出しません、着ている人や季節のことをみんなにおしゃべりしています。きものがおしゃべりしたいことは何かな？本物のきものを見ながら展示室で探してみよう！そして、春夏秋冬、好きな季節をきものデザインで表現してみよう！

11:00～15:00 (昼食は各自準備)  
講師：長崎巖先生 (共立女子大学教授)・当館学芸員  
定員：15名 対象：小・中・高校生  
参加費無料 (ただし企画展観覧券が必要)  
※申込が必要です (〆切：10月12日)

10/7 [土]  
8 [日]  
9 [月]

れきはくワークショップ

草であそぼう  
殿さまバツタづくり

13:00～16:00 材料代：無料  
申込不要

11/3 [金]  
4 [土]  
5 [日]

れきはくワークショップ

秋のいろどり  
手すきハガキづくり

13:00～16:00 材料代：100円程度  
申込不要

11/18 [土]

体験講座

はじめての裂織り  
コースターをつくろう

①10:00～12:00 ②13:30～15:30  
定員：各10名 材料代：100円程度  
※申込が必要です (〆切：11月4日)

11/19 [日]

歴博開館記念イベント ※申込不要

開館記念無料開放DAY

歴史文化博物館が開館して12年目をむかえました。いつも博物館を利用いただいている皆さまに感謝をこめて、11月19日(日)は常設展・企画展を無料開放！ご家族そろってぜひおこしくください。

- れきはくクイズラリー 9:00～16:30 参加費無料
- さわってみよう 縄文・弥生土器 10:00～16:00 参加費無料
- むかしのくらし探検！ ①11:00～②14:00～ 各回10名程度 参加費無料
- きものぬりえで 下じきをつくろう！ 13:00～16:00 材料代：50円程度
- 着付け体験 モダンガールに変身！ 10:00～16:00 参加費無料
- すり型紙で年賀状をつくろう！ 13:00～16:00 材料代：100円
- こどもの城 IN 歴博 あいあい工房 ～七宝焼き～ ①12:50～②13:50～③14:50～ 各回先着10名 対象：幼児・児童 材料代：150円

歴博で秋の色・イロをさがそう♪

お問い合わせ  
お申し込み  
.....  
振興課企画普及係  
tel. 0894-62-6222  
fax. 0894-62-6161



歴史・文書

民俗

考古



資料名  
三間焼雲龍文香炉

みま やき うんりゅうもんこうろ

年代

明治二五（一八九二）年

サイズ

最大径二二cm、高さ一七、五cm

所蔵

個人蔵・当館保管

雲の海に一匹の龍が泳いでいる。そんな姿を想像したのでしょうか？香炉に躍動的な龍を巻きつかせ、その間に雲を貼り付けています。これは高温で焼き締められた、三間焼の香炉です。三間焼は現在の宇和島市三間町に所在し、黒田吉太郎が明治中期に約十年間操業していた窯で、主に型紙染付碗や皿などの日常磁器を生産していました。

底部には刻銘があり、明治二五年旧二月上旬に、松山市出身の陶工五十崎芳太郎により三間で制作された

ことがわかります。彼は、佐賀県で修業し白石神社に磁器の燈籠を制作その後砥部の窯で活躍した、高い技術を持った明治中期の細工師でした。本資料から三間焼にも関わっていたことがわかります。各窯に新しい技術をもたらしたことでしよう。

なお、この香炉の蓋は現在失われていますが、同じ文様の香炉が久万美術館に所在し、「一角仙人」と考えられる蓋を伴うことから、歌舞伎「鳴神」などをもとに意匠された香炉の可能性ががあります。

主任学芸員 石岡ことみ

歴史・文書

民俗

考古



資料名  
松山スーパーマーケット  
開店ポスター

まつやま

年代  
昭和三二（一九五七）年

年代

サイズ

縦74cm×横52cm

所蔵

当館蔵

現在、私たちの暮らしに身近な存在となったスーパーマーケット。スーパーマーケットとは、食料品を主体に日用雑貨や衣料品などの家庭用品について、セルフサービス方式で販売を行う大規模小売店のことです。一九三〇年代のアメリカが始まりで、日本では、東京の青山に昭和二八（一九五三）年に開店した「紀ノ国屋」が1号店であるといわれています。

愛媛県では昭和三二年松山で開店した「主婦の店」が最初です。

この資料は、十二月二日、立花

橋南詰（現在の松山市立花1丁目）の元高市商店跡地でのスーパーマーケットの開店を知らせるポスターです。鮮やかな赤を背景にお洒落な包装紙に包まれた商品を抱える親子。その顔立ち、髪型、スカートの裾などからは、全体的に昭和三十年代に特徴的な丸みや流線型が見てとれます。「開店日より五日間五百円御買上毎に映画の御招待券進呈」からは、この時代に映画が庶民の娯楽であり、店の販売戦略の一つになっていたことがうかがえます。

主任学芸員 安藤久美子

\*松山スーパーマーケット開店ポスターは歴史展示室4（愛媛県の誕生と歩み）に展示しています。

## 歴史文化講座

### 歴史講座

- 講座番号 **2** 伊達宗城の横顔①ー養子事情をさぐるー  
日時：10月15日(日) 13:30~15:00  
講師：藤田 正 (当館学芸課長)
- 講座番号 **3** 伊達宗城の横顔②ー隠居問題の裏側ー  
日時：11月26日(日) 13:30~15:00  
講師：藤田 正 (当館学芸課長)
- 講座番号 **4** 村上水軍の世界①  
日時：12月3日(日) 13:30~15:00  
講師：土居聡朋 (当館主任学芸員)
- 講座番号 **5** 村上水軍の世界②  
日時：12月10日(日) 13:30~15:00  
講師：山内治朋 (当館主任学芸員)

### 民俗講座

- 講座番号 **10** 企画展関連講座①ときめくファッション展のみどころ  
日時：10月8日(日) 13:30~15:00  
講師：松井 寿 (当館学芸員)
- 講座番号 **11** 企画展関連講座②ファッションからみる愛媛の女学生  
日時：11月5日(日) 13:30~15:00  
講師：松井 寿 (当館学芸員)

### 考古講座

- 講座番号 **14** 前方後円墳の発生と神仙思想ー纏向型前方後円墳の持つ意義ー  
日時：9月24日(日) 13:30~15:00  
講師：清水真一氏 (西四国考古学研究所代表)
- 講座番号 **15** 型紙のやきもの考古学  
日時：10月29日(日) 13:30~15:00  
講師：石岡ひとみ (当館主任学芸員)
- 講座番号 **16** 愛媛の前方後円墳を探る  
日時：11月19日(日) 13:30~15:00  
講師：富田尚夫 (当館主任学芸員)

### 文書講座

- 講座番号 **19** 近世武家文書を読む①・②  
日時：10月1日(日)・11月12日(日) 13:30~15:00  
講師：安永純子 (当館主任学芸員)

### 体験講座

- 講座番号 **29** 裂織りで小物入れづくり (\*注1)  
日時：10月28日(土) **29** 10:00~12:00 **30** 13:30~15:30  
講師：安藤久美子 (当館主任学芸員) 材料費：300円程度  
\*注1 29・30の講座は前年度「裂織でコースターをつくろう」を受講済みの方に限ります。
- 講座番号 **31** はじめての裂織りーコースターをつくろうー  
日時：11月18日(土) **31** 10:00~12:00 **32** 13:30~15:30  
講師：松井 寿 (当館学芸員) 材料費：100円程度
- 講座番号 **33** お正月準備！しめ縄をつくろう  
日時：12月9日(土) 13:30~15:30  
講師：奥田佐知子氏 (宇和町創作館) 材料費：200円程度  
\*体験講座は小学生の場合、保護者同伴でお申し込みください。

- ◆受講料 無料 (但し教材費等の実費は受講者負担となります。)
- ◆申込方法 希望する講座番号及び講座名とご住所・お名前・年齢・電話番号・保護者名 (小学生の場合) を記入の上、郵送やFAXなどでお申し込みください。体験講座は応募者多数の場合抽選となります。
- ◆申込期限 歴史・民俗・考古・文書の各講座は1週間前、体験講座は2週間前。

### お申し込み・お問い合わせ

振興課 企画普及係  
TEL (0894) 62-6222 FAX (0894) 62-6161

## 講演会

### 企画展「ときめくファッション」関連講演会 きものをとりまく言葉一色・季節・文様一

日時：10月22日(日) 15:00~16:00  
講師：長崎 巖先生 (共立女子大学教授)

東京国立博物館で長年にわたり染織の優品に接してきた長崎巖先生をお招きします。きものまつわる「言葉」をキーワードに、きもの世界をのぞいてみませんか？

- ◆参加無料
- ◆定員 200名 (先着順)
- ◆申込方法 「きものをとりまく言葉」講演会とご住所・お名前・電話番号を記入の上、博物館に直接、またはハガキやFAX・Eメールでお申し込みください。

## お問い合わせ

振興課 企画普及係  
TEL (0894) 62-6222 FAX (0894) 62-6161  
Eメール rekishi-museum@pref.ehime.jp

## 名誉館長講演会

### 正倉院宝物と日本文化

日時：11月19日(日) 10:30~12:00  
講師：山本 信吉 (当館名誉館長)

元奈良国立博物館長で当館名誉館長の山本信吉が、正倉院宝物と日本文化のかかわりについてわかりやすくお話しします。

- ◆参加無料
- ◆定員 200名 (先着順)
- ◆申込方法 「名誉館長講演会」とご住所・お名前・電話番号を記入の上、博物館に直接、またはハガキやFAX・Eメールでお申し込みください。

## 開館記念無料開放DAY

### 11月19日[日]

当館は、11月で開館して12年目を迎えます。11月19日[日]は、開館を記念し、常設展・企画展が無料でご観覧いただけます。※3ページのイベント情報を併せてご覧ください。

## Museum Calendar 2006.9-11

● 休日 ★ 開館記念無料開放DAY

9月						
日	月	火	水	木	金	土
*	*	*	*	*	1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
*	*	*	*	*	*	*

10月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31	*	*	*	*
*	*	*	*	*	*	*

11月						
日	月	火	水	木	金	土
*	*	*	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	*	*
*	*	*	*	*	*	*